

## 令和7年度「全国学力・学習状況調査」結果についてのお知らせ

佐賀市立松梅小学校

4月に文部科学省による学力・学習状況調査を実施しました。全国的な義務教育の機会均等と水準向上のため、児童の学力や学習の状況を把握・分析し教育の改善を図るとともに、児童一人一人の学習改善や学習意欲の向上につなげることを目的としているものです。

結果を基に、本校児童の学力の傾向を分析し、学力向上について対応策をまとめました。その概要についてお知らせいたします。

### ■ 調査期日

令和7年4月17日（木）

### ■ 調査の対象学年

小学校6年生児童

### ■ 調査の内容

#### (1) 生活習慣や学習環境に関する質問紙調査

| 児童に対する調査                                                                    | 学校に対する調査                                                                                 |
|-----------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------|
| 学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査<br>(例) 学習に対する興味・関心、授業内容の理解度、基本的生活習慣、家庭学習の状況 など | 指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査<br>(例) 授業の改善に関する取組、指導方法の工夫、学校運営に関する取組、家庭・地域との連携の状況 など |

#### (2) 教科に関する調査(国語、算数、理科)

- ①身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等に関わる内容。
- ②知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等に関わる内容。  
調査問題では、上記①と②を一体的に問うこととする。

### ■ 教科に関する調査結果及び考察について

全国学力・学習状況調査は小学6年生・中学3年生と限られた学年が対象であり、教科は国語と算数・数学、理科に限られています。さらに、出題は各教科の限られた分野(問題)です。したがって、この調査によって測定できるのは、「学力の特定の一部」であり、「学校教育活動の一側面」であることをご理解の上、ご覧ください。

## ■調査結果及び考察

### 1 生活習慣や学習習慣等に関する質問調査

#### (1) 結 果

※「当てはまる」「どちらか言えば当てはまる」「どちらかと言えば当てはまらない」「当てはまらない」のうち「当てはまる」「どちらか言えば当てはまる」と肯定的に回答した児童(生徒)の割合。

| 佐賀市学校教育ビジョンに関連する調査項目          | 本校 %  | 全国平均 % |
|-------------------------------|-------|--------|
| 朝食を毎日食べていますか。                 | 100%  | 93.7%  |
| 毎日同じくらいの時刻に寝ていますか。            | 77.7% | 81.9%  |
| 毎日同じくらいの時刻に起きていますか。           | 100%  | 91 %   |
| 自分にはよいところがあると思いますか。           | 88.9% | 86.9%  |
| 将来の夢や目標を持っていますか。              | 88.9% | 83.1%  |
| いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。 | 100%  | 97.2%  |
| 人の役に立つ人間になりたいと思いますか。          | 100%  | 96.4%  |

朝食・起床については全国平均より高い結果が出ています。就寝については、全国平均より下回っており、生活のリズムが整うよう、これからも家庭と学校で協力して指導を継続していきたいと思います。

将来の夢や目標については、全国平均を上回っています。継続して考えさせていくことが重要だと捉えています。

| 家庭学習の様子に関する調査の項目                           | 本校%   | 全国平均 % |
|--------------------------------------------|-------|--------|
| 学校の授業時間以外に、普段1日当たりどれくらいの時間勉強していますか。「3時間以上」 | 0%    | 12.1%  |
| 「2時間以上、3時間より少ない」                           | 22.2% | 12.8%  |
| 「1時間以上、2時間より少ない」                           | 11.1% | 29.1%  |
| 「30分以上、1時間より少ない」                           | 66.7% | 27.4%  |
| 「30分より少ない」                                 | 0%    | 12.9%  |
| 「全くしない」                                    | 0%    | 5.7%   |

家庭学習については、33.3%の児童が1時間以上勉強しています。全く勉強しない児童や30分より少ない児童がいない点は特徴と言えます。かなり個人差が見られるので、個々の実態を随時把握しながら保護者と連携して児童の発達段階に適切な学習時間の習慣化を支えていくことが重要です。

#### (2) 改善に向けての取り組み

##### 【学校では】

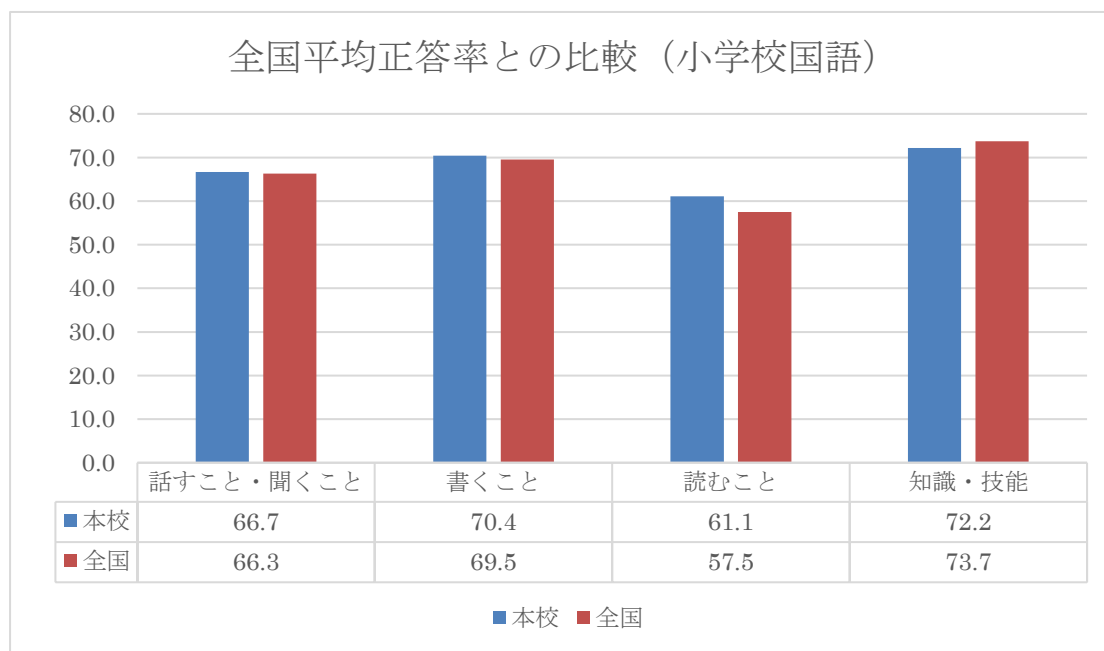
- 「学校に行くのは楽しい」と子どもたちが思えるように、主体的、対話的で深い学びの視点で、日々授業改善を行って授業づくりをしています。
- 学校では、月に1回設定している「家庭学習パワーアップ週間」を今後も継続し、自分の学習課題を自主的に決めて、主体的に学習に取り組ませています。お手本になる自学ノートを掲示することで意欲付けもしていきます。
- 将来の夢や目標について考えさせていく手立てとして、学校全体で定期的に設定している「ゆめ週間」や、長期スパンで取り組ませている「ゆめノート(松梅小版キャリアパスポート)」の双方を効果的に関連させていく指導を継続して設定していきます。

##### 【ご家庭では】

- 「家庭学習パワーアップ週間」では、学年に応じた学習時間に、今の自分に必要な学習課題を自主的に設定して取り組んでいきます。活動を通して、お子さんの主体性などで成長が見られたときには、褒めて成長を認めていくことで、次に進んでいこうとするお子さんの意識が更に高まります。
- 夢や目標について、保護者の皆様の経験・体験を話したり、お子さんの今の段階での思いや一生懸命頑張っていることなどを聞いてあげたりすることが、将来に向けて自己を見つめたり、自己を肯定したりしていくことにつながります。

## ■調査結果及び考察

### 2 国 語



#### (1) 結 果

ほぼ全国平均正答率と同等または上回る結果でした。「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」は全国平均を上回っています。また、無回答率をみると、漢字で書く問題と最後の問題が全国平均よりも高くなっています。

#### (2) 成果と課題

今回の調査では、「読むこと」の領域の正答率が全国平均正答率を3.6ポイント上回りました。中でも、「時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉える」事項では、全国平均を7.3ポイント上回りました。定期的に朝の活動として学校全体で取り組んでいる「地域の方々による読み聞かせ」を通して、文学作品にふれたり、話の概要（あらすじ）に対する感想を発表したりするなどの活動を積み重ねてきた成果が表れていると考えられます。課題は、「知識・技能」の正答率を上げることです。国語科の「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」のそれぞれの内容領域の根幹をなす言葉の力を伸ばすことにつながるよう、主体的な学びの視点で授業改善を図るとともに、話の聞き方や音読、キーワードの読み取り等の活動を継続的に設定していくことが重要であると捉えています。

### (3) 学力向上のための取り組み

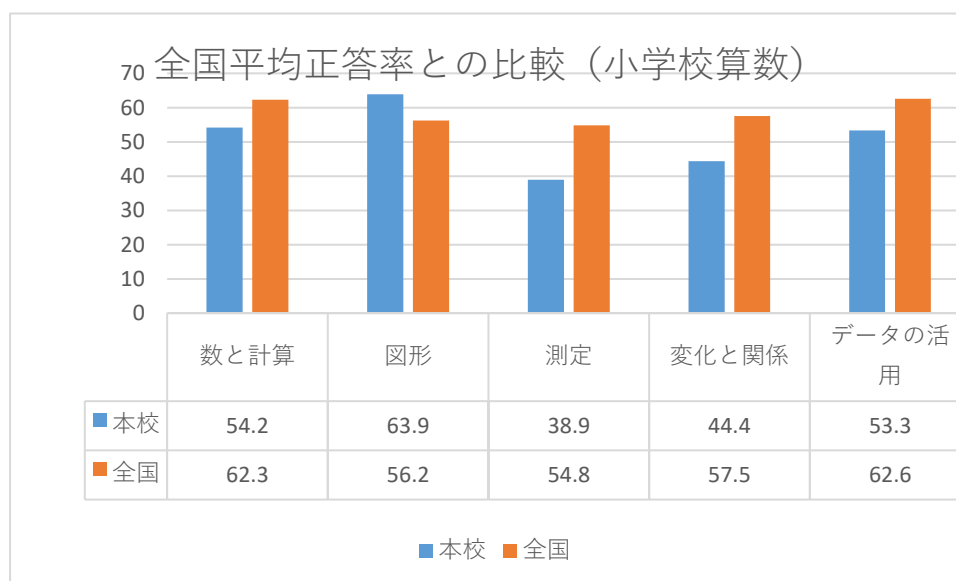
#### 【学校では】

- 子どもが主体的に学べるように、授業の在り方を工夫すること（主体的・対話的で深い学び）で、子ども同士が話し合いながら、深く学んでいけるようにします。
- 目的や意図に応じて、自分の考えとその理由を明確にしながら書く機会を増やしたり、インタビューや案内をしたりするなど、日常生活につながる言語活動を授業場面で設定します。
- これまで通り、「地域の方による読み聞かせ」を通して、学年に応じた文学作品にふれさせたり、感想を述べさせたりする活動を継続していきます。
- 学校全体で実施しているスピーチタイムにおいて、写真等の資料を用いて自身の考えを発表したり、発表後に友達の発表に用いられているよい表現技法について称賛したりする活動を今後も継続して積み重ねていきます。
- 漢字の読み書き、言葉の学習等に一層力を入れるとともに、辞書を活用させ、語彙を増やします。

#### 【ご家庭では】

- 音読を大切にしていきましょう。繰り返し音読することで、文の構成、文節ごとの区切り、言葉の意味を理解することができ、要点や意図を捉えることにもつながります。
- 読書を大切にしていきましょう。様々なジャンルの本を読み、いろいろな表現や用語にふれることで、語彙力を高め知識の幅を広げることができます。家族が読んでいる本について、あらすじ・主題や印象的な場面を紹介し合ったりするのも更に読書意欲が高まることにつながります。市立図書館や書店に定期的に行くことも、読書習慣をつける上でおすすめです。

## 3 算 数



#### (1) 結 果

「図形」は、全国平均正答率を上回っています。また、無解答率については多くの問題で0%でしたが、「数と計算」の領域と「はかりの目盛りを読む」問題では全国平均を上回っています。

## (2)成果と課題

今回の調査では、「図形」の領域について、全ての問題で全国平均正答率を10ポイント以上上回っていました。実物を手にして考えたり、デジタル教科書を用いることで立体的に見て考えたりした成果だと考えられます。「数と計算」の領域の6問中3問での正答率が全国平均を大きく下回っていました。計算を速く正しく解く練習を継続して行うことと、「自力で問題を正しく読み取り、何が問われているのか」を理解する力（読解力）の育成を、算数だけに限らずあらゆる教科において日頃から意識して指導していくことが重要であると捉えています。

## (3)学力向上のための取り組み

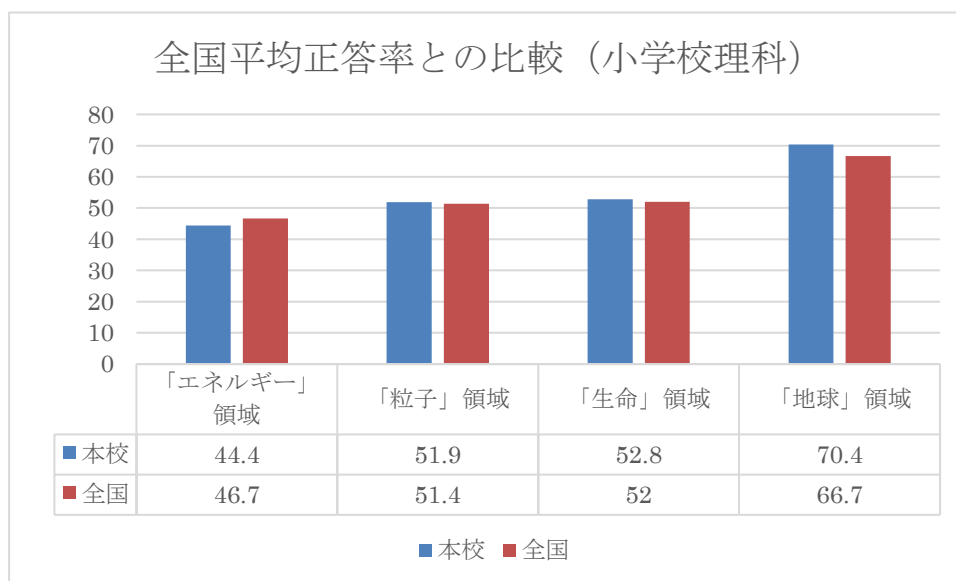
### 【学校では】

- 朝のスキルタイムでは、基礎基本となる計算の習熟を図るための反復練習を取り入れます。
- 日頃の授業において、学習問題について、自力で「何が問われているのか」を読み取っていく活動を設定することで、算数科における読解力や自身で考え解き進めていく力（主体的に学ぶ力）を育てていきます。
- 様々な見方や考え方ができるように、複数の解法が出てくるような学習問題を設定し、児童同士で考えを交流させる活動を取り入れていきます。また、自分の考えを、式や言葉を使って、論理的に書く機会を増やし、思考力や表現力を高め、記述力の向上に努めます。

### 【ご家庭では】

- お子さんのドリルやプリント等の宿題の様子やテストをご覧になって、最終的な答えの正誤だけでなく、答えを導き出すプロセスについても称賛の言葉をかけてください。
- 算数を好きになるには、「習ったことが生活の中で使えて、便利だな。おもしろいな。」と思う経験をさせることが有効です。生活場面で算数を使ってみてください。「おかし分けで割り算」「料理で重さ」「お風呂で水のかさ」「買い物で暗算」「折り紙で分数」「家の中で図形探し」など、ちょっと意識するだけで、身の回りには算数を使えるものがたくさんあります。

## 4 理 科



### (1) 結 果

ほぼ全国平均正答率と同等または上回る結果でした。また、無回答率をみると、ほとんどの問題で全国平均を上回っていました。

### (2) 成果と課題

今回の調査では、「エネルギー」領域の「電気の回路のつくり方について、実験の方法を発想し、表現する」問題の正答率が全国平均正答率を12.7ポイント上回っていました。「氷がとけてできた水が海に流れていくことの根拠について、理科で学習したことと関連付けて、知識を概念的に理解しているか」をみる問題が全国正答率を大きく下回りました。学習して得た知識を身近な自然や物事と結び付けて考えさせることが重要であると捉えています。

### (3) 学力向上のための取り組み

#### 【学校では】

- 理科の学習過程を「事象提示→課題→予想→実験・観察→結果→考察→課題・・・」とし、一貫した学習指導を行うことにより、児童の思考力、判断力、表現力を向上させます。
- 様々な見方や考え方ができるように、グループで話し合う活動を取り入れていきます。また、結果に対する考察を論理的に書く機会を増やし、記述力の向上に努めます。

#### 【ご家庭では】

- 理科が好きになる場合も、「習ったことが生活の中で使えて、便利だな。おもしろいな。」と思う経験をさせることが有効です。星空を見上げて星座の話をしたり、コップの結露の理由を考えたりすることで、習ったことと日常生活での現象を結びつけると理解が深まることもあります。
- 佐賀県立宇宙博物館や佐賀県立博物館などのイベントチラシ等も配布しております。お時間があるときに一緒に行ってみることで、興味関心が向上することもあります。